

次の文の□に当てはまる漢字を書きましよう。
送りがなにもきをつけましよう。

① □ ていきあひ □ が □ りごう
してきた。

② □ げんいん □ をつき □ とめる □ のは □ ようい □ では
ない。

③ □ しえい □ の □ たいいくかん □ の □ ばしよ □ を □ うつす □ 。

④ □ かかく □ この □ では、 □ りえき □ は □ のぞめ □ ない。

⑤ □ やさしい □ □ もんだい □ から □ はじめる □ 。

⑥ おじは □ ぼうえきぎよう □ を □ いとなむ □ 。

次の文の□に当てはまる漢字を書きましよう。
送りがなにもきをつけましよう。

① □^{たい} そう^{みごと} □^{せんしゆ} が、 □^{おう} えん^{だん} □^{せい} の □^{せい} え

んに □^{みごと} な □^{えんぎ} で □^{こたえる} 。

② □^こ きようの □^{さくら} を □^{みる} のは □^{ひさし} ぶ

りだ。

③ □^{じんこうえいせい} は □^{えいきゆう} に □^{つかえる} わけ

ではない。

④ □^{びようぎ} のために □^{ながい} ねむりについた。

⑤ □^{えきたい} が □^{かがくはんのう} を □^{おこす} 。

⑥ □^{えぎ} から □^{がつこう} までの □^{みち} を □^{おうふく} する。

| | | | | | |
|-------------------|--------------|----|---|---|---|
| 国語 五—三 (書き) | 第五学年の漢字 (書き) | 名前 | 年 | 組 | 番 |
|-------------------|--------------|----|---|---|---|

| | | |
|--------|---|----|
| 取り組んだひ | 月 | にち |
|--------|---|----|

次の文の□に当てはまる漢字を書きましよう。
送りがなにも気をつけましよう。

① じょうりゆう じょうりゆう
から から
かこう かこう
に に
むかう むかう
。

② せんせい せんせい
に に
ひきい ひきい
られて られて
うつつ うつつ
へと へと
。

③ かぶんすう かぶんすう
を を
たいぶんすう たいぶんすう
に に
なおし なおし
て て
かいたう かいたう
する。 する。

④ こころよい こころよい
かぜ かぜ
がふく がふく
かいせい かいせい
の の
ひ ひ
に、 に、
かわら かわら
で で
すすす すすす
。

⑤ かこ かこ
を を
かえる かえる
ことは ことは
ふかのう ふかのう
だ。 だ。

⑥ かくりつ かくりつ
の の
もんだい もんだい
を を
とく とく
。

次の文の□に当てはまる漢字を書きましよう。
送りがなにも気をつけましよう。

① □の□の□を□に□。

② □の□を□、□にあせをか。

③ □で□た□を□の□。

□で□。

④ □クラスに□。

⑤ □の□が□の□をすす。

める。

⑥ □な□を□。

次の文の□に当てはまる漢字を書きましよう。
送りがなにも気をつけましよう。

①

□こうえんに□よりみちして□さかあがりの
□れんしゅうを□をする。

②

□せいかくな□ちゅうには□たしかな□ちじゆつ
□ひつようだ。

③

□きしゆくしやの□きそくを□まもる。

④

□ひがしの□ぎやくの□ほうがくが□にしだ。

⑤

□ながれに□さからうよう□あるく。

⑥

□きゆうしきの□きかいを□あたらしくする。

次の文の□に当てはまる漢字を書きましよう。
送りがなにも気をつけましよう。

① きのよかの
ないひと
の
たちの
いり
は

きんし
むだん
だ。

② ゆるや
で
きようかいせん
をこえることは

みせ
ある
が
。

③ ちがたせん
なつ
を
たいへいよう
を
こうかい
する。

まぢ
と
なり
の
の
に
ひやくえん
きんいつ
の

④ ちよきん
だいすぎ
な
くるま
の
も
けい
を
かう
ために

⑤ なが
を
テーマに
いつく
よむ。

⑥ する。

次の文の□に当てはまる漢字を書きましよう。
送りがなにも気をつけましよう。

① よい けいけん ができた かんしや する。

② ちち が せいめいほけん に かにゆう する。

③ へや をできる かぎり せいけつ に たもつ。

④ ながい じかん を へ じけん は かいけつ

した。

⑤ たち ぼいしや いら いがい の かた の がっこうない への を せいげん している。

⑥ みち せいぎ の だいはっけん までは、 けわしい のりだった。

次の文の□に当てはまる漢字を書きましよう。
送りがなにも気をつけましよう。

① とうじん に こうじてき ななやみを そうだん する。

② はらを へらし た が ひとぢんに

あらわれる。

③ げんざい の せいじ の ありかた を かんがえる。

④ げんりよう に とり くん だ が こうか が てる。

⑤ くすり が きん て、 いのち が すくわ れた。

⑥ きゆうきゆうしや が いえ の きんじよ に ていしや した。

次の文の□に当てはまる漢字を書きましよう。
送りがなにも気をつけましよう。

① くわを□
□と□
□の□
□の□
□を□
□を□

② □とお
□の□
□の□
□を□
□を□

③ □えき
□の□
□は□
□で□
□でいる。

④ □だいがく
□の□
□の□
□に□
□に□
□がある。

⑤ □こんぎつ
□する□
□に□
□を□

□もうける。

⑥ □こうだい
□な□
□を□
□みる。

⑦ □はじめ
□の□
□の□
□に□
□は□
□の□
□ひ

から□ふんしている。

次の文の□に当てはまるかんじを書きましよう。送りがなにも気をつけましよう。

① □^{きらいげつ}に□^{ふたたび}□^{けつえき}を□^{とつ}て

□^{けんぎ}します。

② □^{じゅうご}の□^{さいがい}に□^{たいおう}できるように

□^{そなえる}。

③ □^しは□^{りょうび}の□^{じゅんぴ}をしている。

④ □^{かんじ}の□^{せん}テストの□^{せうてん}をする。

⑤ □^{せんせい}は□^{あいさいか}として□^{ゆうめい}だ。

⑥ ゆう□^{しやうしや}が□^{しやうひん}をもらって□^{ちゆうぎ}。

| | | | | | |
|-------------------|--------------|----|---|---|---|
| 国語 五十一 (書き) | 第五学年の漢字 (書き) | 名前 | 年 | 組 | 番 |
|-------------------|--------------|----|---|---|---|

| |
|------------------|
| 取り組んだ日 月 日 |
|------------------|

次の文の□に当てはまる漢字を書きましよう。
送りがなにも気をつけましよう。

① みずうみの しゅうい の を さんぽ する。

② つみ を みとめ、 しやせご する。

③ ぞうきばやし に かこみ れた とち に いえ を たてる。

④ さんそ を はっせい させる じっけん を する。

⑤ ぎつぜん とした へや を きれいに する。

⑥ その ていあん に さんせい です。

| | | | | | |
|-------------------|--------------|----|----|---|---|
| 国語 五十二 (書き) | 第五学ねんの漢字(書き) | 名前 | ねん | 組 | 番 |
|-------------------|--------------|----|----|---|---|

| | | |
|--------|---|---|
| 取り組んだ日 | 月 | 日 |
|--------|---|---|

次の文の□に当てはまる漢字を書きましよう。
送りがなにも気をつけましよう。

① えだ を ゆるめる よう しじ を だす。

② おおきかふ の しじや に しゅつちやう する。

③ きようし への みち を こころざす。

④ しようねん よ、 たいし をいだけ。

⑤ ひつよう な しりよう を しめす。

⑥ たかい こころざし をもって しごと をする。

| | | | | | |
|-------------------|--------------|----|---|---|---|
| 国語 五十三 (書き) | 第五学年の漢字 (書き) | 名前 | 年 | 組 | 番 |
|-------------------|--------------|----|---|---|---|

| | | |
|--------|---|---|
| 取り組んだ日 | 月 | 日 |
|--------|---|---|

送^{おく}りがなにも気^きをつけましょう。
 次の文^{ぶん}の□に当^あてはまる漢^{かん}字^じを書^かきましよう。

① □^{いみ}の□^にた□^{ことば}がないか□^{しらす}。

② □^{かいぬし}が□^{しいく}のた^めの□^{ちしき}を□^み

につける。

③ □^{あに}は□^{ものしりはかせ}と□^{いわ}れて^いる。

④ □^{あたらしい}で□^{いっしや}を□^{じめがよう}うける。

⑤ □^{あし}の□^{せいかつ}につ^いて□^{せんせい}に□^{しつもん}

をする。

⑥ □^{ちんごん}を□^{そごぞん}する。

| | | | | | | |
|-------------------|---------------|----|---|---|---|------------------|
| 国ご 五十四 (かき) | 第五がく年の漢字 (かき) | 名前 | 年 | 組 | 番 | とり組んだ日 月 日 |
|-------------------|---------------|----|---|---|---|------------------|

次の文の□に当てはまる漢字をかきましょう。
送りがなにも気をつけましょう。

① □を□、□りよう□を

□
□。

② □するので、□の□を

かける。

③ □してくれた□にお□を

□。

④ □と□について□する。

⑤ □のかばんを□て□する。

| | | | | | |
|------------------------|--------------|----|---|---|---|
| 国語 五十一 五 (書き) | 第五学年の漢字 (書き) | 名前 | 年 | 組 | 番 |
|------------------------|--------------|----|---|---|---|

| |
|------------------|
| 取り組んだ日 月 日 |
|------------------|

次の文の□に当てはまる漢字を書きましよう。
送りがなにも気をつけましよう。

① おののを。

② ののを。

③ ののをに。

④ なのにかざる。

⑤ をてかくれる。

⑥ するためのを。

| | | | | | |
|--------------------|--------------|----|---|----|---|
| こく語 五十六 (書き) | 第五学年の漢字 (書き) | 名前 | 年 | くみ | 番 |
|--------------------|--------------|----|---|----|---|

| |
|------------------|
| 取りくんだ日 月 日 |
|------------------|

次の文の□に当てはまる漢字を書きましよう。
送りがなにも気をつけましよう。

① じぶん の けんこうじょうたい を つね に
たしかめる。

② じょうしきはずれ の なさけ ない こうどうだ。

③ そしきない じょうほう を きょうゆう する。

④ がいこく から てっこうせき を ゆにゆう する。

⑤ きはちじょう はちじょうじま に つたわる おりもの だ。

⑥ しよくにん が て ぎわよく の を おる 。

| | | | | | |
|--------------------|---------------|----|---|---|---|
| こく語 五十七 (書き) | 第五がく年の漢字 (書き) | 名前 | 年 | 組 | 番 |
|--------------------|---------------|----|---|---|---|

| | | |
|--------|---|----|
| 取り組んだひ | 月 | にち |
|--------|---|----|

次の文の□に当てはまる漢字を書きましよう。
送りがなにも気をつけましよう。

① □の□を□。

② □の□が□ている。

③ □は□に□だ。

④ □の□が□、やがて

⑤ □では□の□がものを

□。

⑥ □の□について□。

国ご
五十八
(かき)

第五学年の漢字 (かき)

名前

年

組

番

取り組んだ日
月 日

次のぶんの□にあてはまる漢字をかきましょう。
送りがなにもきをつけましょう。

① しょうひせい は、 どうにゅう とうしよ さん パーセン

トだった。

② せきにんかん のある ひこ にキャプテンを
まかせ よう。

③ たいかい ですぐれた せいせき をおさめる。

④ せつぞくご に き をつけて ぶんししよう を かく。

⑤ そぼ に てがみ を かく。

⑥ なかま の しつぱい を せめ ない。

国ご
五十九
(書き)

第五がく年の漢字 (書き)

名前

年

組

番

取り組んだ日
月 日

次の文の□に当てはまる漢字を書きましよう。
送りがなにも気をつけましよう。

① □の□をとらえる。

② つい□を□てしまう。

③ □のピンチだ。

④ □を□ていた□が□に

□された。

⑤ □は□を□して□から□

した。

⑥ □はなし□あい□の□を□もうける□。

| | | | | | |
|-------------------|--------------|----|---|---|---|
| 国語 五十二 (書き) | 第五学年の漢字 (書き) | 名前 | 年 | 組 | 番 |
|-------------------|--------------|----|---|---|---|

| |
|------------------|
| 取り組んだ日 月 日 |
|------------------|

次の文の□に当てはまる漢字を書きましよう。
送りがなにも気をつけましよう。

① □ えんそく
が □ いんしょう
に □ のこい
ている。

② □ よ
の □ なか
の □ もんだい
を □ そうじうてき
に □
かんがえる
。

③ □ きさくごうば
でロケットの □ おひん
を □ せいぞう
している。

④ □ さけ
は □ こめ
から □ つくら
れている。

⑤ インド □ ぞう
を □ ほん
する。

⑥ □ てら
の □ ほんごう
に □ じゆぎ
を □ おく
。

| | | | | | |
|-------------------|--------------|----|---|---|---|
| 国語 五十二 (書き) | 第五学年の漢字 (書き) | 名前 | 年 | 組 | 番 |
|-------------------|--------------|----|---|---|---|

| |
|------------------|
| 取り組んだ日 月 日 |
|------------------|

次の文の□に当てはまる漢字を書きましよう。
送りがなにも気をつけましよう。

① □みず かさが □まし た □ばあい に □そなえ て

□どて を □きせう 。

② □きそく を □ふやす 。

③ □はは が □いえ の □ぞうちく を □ちち に □ていあん する。

④ □どう メダルをかく □とく できて □ゆめ のようだ。

⑤ □こたえ を □みちびき □だす 。

⑥ □せんせい の □しどう で □やきゆう に □むちゆう になる。

次の文の□に当てはまる漢字を書きましよう。
送りがなにも気をつけましよう。

①

すいがい

を

ふせぐ

。

②

かくど

を

はかる

。

③

ふそく

の

じたい

に

そなえる

。

④

ち

いきの

どうろ

を

せいび

する。

⑤

ぼうさいくんれん

に

さんか

する。

| | | | | | |
|---------------------|--------------|----|---|---|---|
| 国語 五十二十三 (書き) | 第五学年の漢字 (書き) | 名前 | 年 | 組 | 番 |
|---------------------|--------------|----|---|---|---|

| |
|---------------|
| 取り組んだ日 月 日 |
|---------------|

次の文の□に当てはまる漢字を書きましよう。
 送りがなにも気をつけましよう。

① □^{ただしい}
 □^{ほんだん}
 を □^{くだす}。

② □^{こころ}
 が □^{ゆたか}
 になる。

③ □^{みず}
 が □^{ほうふ}
 な □^{とち}
 で □^{のうぎやう}
 を □^{いとなむ}。

④ □^{ひようばん}
 の □^{よい}
 □^{べんぐし}
 をやとよう。

⑤ さがしていた □^{ひと}
 の □^{いばしよ}
 が □^{わかる}。

⑥ □^{むかし}
 の □^{じゆうぎや}
 について □^{しらべる}。

次の文の□に当てはまる漢字を書きましよう。
送りがなにも気をつけましよう。

① □^{そん}をしないように □^{かいもの}をする。

② □^{にがて}な □^{がくしゅう} □^{ないよう}を □^{ふくしゅう}する。

③ □^{はは}は □^ち □^{いぎの} □^{ふじんかい}に □^{ぞく}している。

④ □^{りえき}を □^{あげる}ための □^{どりよく}を □^{つづける}。

⑤ □^{のうりじしき}に □^{しゅう}をする。

⑥ □^{てきせつ}な □^{ことば}を □^{えらん}で □^{はなす}。

次の文の□に当てはまる漢字を書きましよう。
送りがなにも気をつけましよう。

① □^{ともだち}に□^{ほん}を□^{かす}。

② □^{つみ}をにくんで□^{ひと}をにくまず。

③ □^{ぼうはんきようしつ}で□^{まなん}だことを□^{ぼうこく}する。

④ □^{せいどうき}の□^{ふくせいひん}を□^{しゅつぴん}する。

⑤ □^{たいど}を□^{ほりゆう}する。

⑥ □^{はる}のおとずれを□^{つげる}。

次の文の□に当てはまる漢字を書きましよう。
送りがなにも気をつけましよう。

① けんこう を たもつ ために ぼういんぼうしよく はし

ない。

② うま が あばれる 。

③ ぎりになじよう を たいせつ にする。

④ くわしい せつめい は しょうりやく します。

⑤ かいぎ を ひこうかい で おこなう 。

次の文の□に当てはまる漢字を書きましよう。
送りがなにも気をつけましよう。

① チームの□を□。

② □をわたる。

③ いくつかの□を□する。

④ □の□を□。

⑤ □の□につく。

次の文の□に当てはまる漢字を書きましよう。
送りがなにも気をつけましよう。

① きん □ は □ の □ だ。

② タンポポの □ が □ 。

③ □ を □ 。

④ □ で □ の □ を □ 。

⑤ □ から □ を □ する。

| | | | | | |
|---------------------|---------------|----|---|---|----|
| 国語 五―二十九 (書き) | 第五がく年の漢字 (書き) | 名前 | 年 | 組 | ばん |
|---------------------|---------------|----|---|---|----|

| |
|---------------|
| 取り組んだ日 月 日 |
|---------------|

次の文の□に当てはまる漢字を書きましよう。
送りがなにも気をつけましよう。

① □_め が □_{こえる}。

② □_{りょうしん} の □_{がいしゅつちゆう} は、 □_{おとうと} と □_{るすばん}

をする。

③ □_{うつくし} □_{いどり} が □_め に □_{とめる}。

④ □_{あね} は □_{かいがい} への □_{りゆうがく} を □_{きぼう} している。

⑤ □_{いさぐ} を □_{せいけつ} に □_{たもつ}。

取り組んだ日
月
日

こく語
五—三十
(書き)

第五がく年の漢字(書き)

名前

年

組

番

次の文の□に当てはまる漢字を書きましよう。
送りがなにも気をつけましよう。

①

□

□

をかざる。

くわまてこ

むしやにんぎよう

②

□

□

□

。

たしふう

せいしん

まなぢ

③

□

ぼうくじは

□

たくない。

びん

ひま

④

□

□

□

たものの、

まずしい

いえ

うまれ

どりよく

せうご

⑤

□

の

□

を

□

。

じこく

りようご

まめる

□

して

□

した。

どりよく

せうご

| | | | | | |
|---------------------|--------------|----|---|---|---|
| 国語 五十三十一 (書き) | 第五学年の漢字 (書き) | 名前 | 年 | 組 | 番 |
|---------------------|--------------|----|---|---|---|

| |
|------------------|
| 取り組んだ日 月 日 |
|------------------|

次の文の□に当てはまる漢字を書きましよう。
送りがなにも気をつけましよう。

① □ すいでん に □ ひりよう をまく。

② ほしかつた □ が □ はかく のねだんで □ て に

□ はいる。

③ オリンピックの □ きんぐ を □ やぶる。

④ □ こえ た □ とち に □ やぎ を □ うえる。

⑤ □ はたけ に □ こえ をやる。

次の文の□に当てはまる漢字を書きましよう。
送りがなにも気をつけましよう。

① □_{こめん}に□_{こおり}が□_{はる}。

② □_{ちほう}の□_{してん}に□_{しゅつちよう}する。

③ □_{しあい}を□_{ちゆうだん}する。

④ □_{ほとけ}の□_{かお}も□_{さんど}「と□_{おしえ}られる。

⑤ □_この□_{てい}には□_{ふるご}□_{ちうざう}がある。

次の文の□に当てはまる漢字を書きましよう。
送りがなにも気をつけましよう。

① □^{かぞく}で□^{はかまいり}に□^{いく}。

② □^{いろ}の□^{たいひ}が□^{うつくしい}□^{かいが}。

③ □^{あに}とせい□^{くちへ}をする。

④ □^{せいこう}する□^{かのうせい}が□^{たかい}。

⑤ □^{ひとのいふ}をつぶやく。

⑥ □^{ぼぜん}に□^{はな}をそなえる。

次の文の□にあてはまる漢字を書きましよう。
送りがなにも気をつけましよう。

①

むずかしい

□

を

□

ゆうをもつて

とく

もんだい

よ

□。

②

□

ガスをほり

□

きよ

□

の

□

てんねん

あて

まん

とみ

える

を□。

③

□

の

□

でマフラーを

□

あまのり

けいと

あむ

④

□

を

□

たんぺんしょうせつ

よむ

⑤

□

な

□

は

□

だ。

とくい

きょうか

こくご

| | | | | | |
|---------------------|--------------|----|---|---|---|
| 国語 五―三十五 (かき) | 第五学年の漢字 (かき) | 名前 | 年 | 組 | 番 |
|---------------------|--------------|----|---|---|---|

| |
|---------------|
| 取り組んだ日 月 日 |
|---------------|

次の文の□に当てはまる漢字をかきましょう。
送りがなにも気をつけましょう。

① ひこうぎのねんりようがふそくする。

② おとうとひゃつかてんでまごいになつた。

③ しよくどうでなにをたべるかまよう。

④ にわでおさばを、いもをやく。

⑤ せいかくにかいとうをかきこむ。

⑥ キャンプでまきをむす。

| | | | | | |
|---------------------|--------------|----|---|---|---|
| 国語 五―三十六 (書き) | 第五学年の漢字 (書き) | 名前 | 年 | 組 | 番 |
|---------------------|--------------|----|---|---|---|

| |
|---------------|
| 取り組んだ日 月 日 |
|---------------|

次の文の□に当てはまる漢字を書きましよう。
送りがなにも気をつけましよう。

① の を する。

② を きのこを ないように
 する。

③ のまう となつた。

④ にアルプス が 。

⑤ を た を 。